

NICE Future



2018年12月7日の東京新聞朝刊に
「日本主導の原発推進枠組み 経産省が概要公表」
という小さな記事が出ていました。
確かに 資源エネルギー庁のホームページ(HP)に出てました。

NICE Future イニシアチブ

設立の経緯と概要

NICE Future (Nuclear Innovation: Clean Energy Future) イニシアチブは、クリーンエネルギーの普及における原子力の役割について、広くエネルギー関係者との対話を行うことを目的として、2018年5月の第9回クリーンエネルギー大臣会合 (CEM) において設立された枠組みです。

現在、NICE Future イニシアチブには、日本、米国、カナダ、英国、ロシア、UAE、ポーランド、ルーマニア、アルゼンチンの合計9カ国が参加しています。

● (テーマ例)

- ▶ 既存及び新規技術の評価
- ▶ 政策担当者向けの将来のエネルギー選択肢に関するシナリオ
- ▶ 原子力の価値に関する分析(経済・財務的分析)
- ▶ 再生可能エネルギーとの統合エネルギーシステムにおける原子力の役割

● (NICE Futureイニシアチブ設立についてのCEM事務局のニュースリリース)

[Countries Launch a Nuclear Innovation Initiative under the Clean Energy Ministerial \(CEM\)](#)

(参考資料①)

HPの情報はこれと、セミナーとイベントのお知らせだけで、
リンク先のニュースリリース (英語) を見てみました。
すると、大串正樹経済産業大臣政務官のコメントが。。。

Japanese Parliamentary Vice-Minister of Economy, Trade and Industry Masaki Ogushi stated, "I expect this initiative would bring the wisdom of the world on nuclear innovation together, and contribute to policy making for realizing clean energy systems that solve challenges in each country. Our aim is to promote nuclear innovation utilizing out-of-the-box ideas from the private sector, pursuing the development of reactors with new concepts, including harmonization with renewable energy, combined with enhanced safety, efficiency, and flexibility."

(参考資料②)

訳はこんな感じ？

「私はこのイニシアチブが世界の知恵を原子力の革新に結びつけ、各国の課題を解決するクリーンエネルギーシステムを実現するための政策策定に貢献すると期待しています。私たちの目標は、安全性、効率性、柔軟性の向上と併せて、再生可能エネルギーとの調和を含む新しいコンセプトの原子炉の開発を追求して、民間部門のすぐに使えるアイデアを活用して原子力革新を促進することです。」

このイニシアチブ（戦略？）のホームページでは英語のファクトシート（概要紹介）（英語）をダウンロードできます。
メンバー紹介。
(参考資料③)



CEMというのは Clean Energy Ministerial 「クリーンエネルギー大臣会合」のこと。
日本はCEMメンバーの中でも NICE Futureの中心的役割を担っているようです。

ファクトシートには『ゴール』も書いてあります。

The aim is to initiate a dialogue among CEM Members on the role that clean and reliable nuclear energy could play in bolstering economic growth, energy security, and environmental responsibility. Nuclear energy is an important contributor to global clean energy supply, both as a primary source of clean energy and by complementing and enabling other clean energy sources.
Existing and planned nuclear capacity will continue to play a key role in meeting clean energy goals in the future.

訳はこんな感じ？

(参考資料③)

目標は、クリーンで信頼性の高い原子力エネルギーが経済成長、エネルギー安全保障、環境面での責任を強化する上で果たす役割についてCEMメンバー間の対話を開始することである。

原子力エネルギーは、クリーンエネルギーの主要供給源として、また他のクリーンエネルギー源を補完して可能にすることにより、世界のクリーンエネルギー供給に重要な貢献をしている。

既存および計画された原子力の能力は、今後もクリーンエネルギー目標を達成する上で重要な役割を果たすであろう。

一応確認しておく、日本のエネルギー基本計画にはこう書いてあります。

東京電力福島第一原子力発電所事故を経験した我が国としては、2030年のエネルギーミックスの実現、2050年のエネルギー選択に際して、原子力については安全を最優先し、再生可能エネルギーの拡大を図る中で、可能な限り原発依存度を低減する。

(参考資料④p.2)

最後に一言

なんで日本が国際的に原子力推進の中心にいるようなことになってんでしょ。。。しかも、裏でひっそりやってる感じ。誰も関心を持たないから、報道もされません。「可能な限り原発依存度を低減する」というエネルギー基本計画との整合性をどう説明するんやら。

参考資料

- ①資源エネルギー庁HP NICE Future イニシアチブ
http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/event/nice_future/
- ②CLEAN ENERGY MINISTERIAL HP Press Release 24 May 2018 'Countries Launch a Nuclear Innovation Initiative under the Clean Energy Ministerial'
<http://www.cleanenergyministerial.org/news-clean-energy-ministerial/countries-launch-nuclear-innovation-initiative-under-clean-energy>
- ③CLEAN ENERGY MINISTERIAL HP Nuclear Innovation: Clean Energy Future (NICE Future) 'Fact Sheet.'
<http://www.cleanenergyministerial.org/initiative-clean-energy-ministerial/nuclear-innovation-clean-energy-future-nice-future>
- ④資源エネルギー庁HP エネルギー基本計画について 「第5次エネルギー基本計画」
http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/